

日本共産党松江市委員会機関紙

# 新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

## 松江市長・原発再稼働同意 日本共産党が抗議宣伝 市民と共同で原発ゼロを



賛成討論するたちばなふみ市議

どうする島根原発？みんな  
でつくる松江の会が1万10  
06人分の署名を集めて松江  
市に直接請求した「島根原子  
力発電所2号機の再稼働につ  
いて、市民の意向を問い、市  
民の意思を的確に反映させる  
松江市住民投票条例」案が2  
月8日から15日に行われた臨

### 松江市議会

### 住民投票条例案を否決

### たちばなふみ市議が賛成討論

時議会で審議されました。最  
終日の15日、賛成の議員2人、  
反対の議員4人が討論を行  
いました。

「私たちたち市議が共産党  
松江市議団を代表して賛成討  
論に立ち「住民投票は、市民  
が一つ一つの政策について意  
思表示できる最後のよりどこ  
ろ」「地方自治を考えるとこ  
ろ」「住民が主人公」「住民の  
声をきく」ことが基本」と強  
調、また条例案は、「公開討  
論会」「シンポジウム」等を  
開催し島根原発2号機再稼働  
の是非にかかわる情報を市民  
に提供することを求めている  
ことを紹介。「年末のコロナ  
禍で集められた一筆一筆の重  
みを受け止め、住民投票条例

「住民投票条例の採決を行っ  
た同じ日に全員協議会を行う  
ことは、あまりに拙速であり、  
少なくとも日を改めるべき」  
と主張して反対しましたが、  
賛成少数で否決され、15日の  
開催となりました。

全協は住民投票条例案を否  
決した本会議終了後直ちに開  
催され、各会派が原発再稼働  
に対する意見を上定市長に対  
し述べました。共産党市議団  
からは田中はじめ市議が「福  
島事故は原発が人類と共存で  
きないことを示した。使用済  
み核燃料をこれ以上増やすこ  
とは将来の世代に対し許され  
ない。人間に地震を止める



緊急抗議宣伝を行う県議、市議団

2月15日住民投票条例に関  
する臨時議会最終日。臨時議  
会終了後、全員協議会におい  
て、上定市長は再稼働に関し

て各会派の意見を聴取し、た  
だちに中国電力島根原発2号  
機（松江市）について再稼働  
に同意すると表明しました。

住民投票条例の採決直後で  
もあり、適合性審査は途中の  
段階での判断です。市長は、  
「安全性、必要性、避難対策、  
地域経済への影響という4つ  
の観点で熟慮を重ねた」とし、  
市議会が11月議会の陳情審査  
において事実上再稼働を容認  
していることや経済の発展に  
原発は不可欠などの理由を述  
べました。

住民の理解が不十分ではな  
いかという市民の声が住民投  
票条例を求める運動であり、  
否決の直後に再稼働容認とし

### 共産党は再稼働に反対 全員協議会

島根原子力発電所2号機再  
稼働の是非について、市長が  
議会各会派に対し意見表明を  
求め、市議会全員協議会が2  
月15日開催されました。この  
日の開催を決定した議会運営  
委員会、共産党市議団は、

明したことを受け、日本共産  
党県議団および市議団は、市  
役所正面玄関前で緊急の抗議  
宣伝を行いました。

尾村利成県議が「市政の主  
人公は市民。多くの市民は原  
発稼働に反対している。市民  
の願いに反する再稼働同意撤  
回を求める」と力を込めまし

た。たちばなふみ市議は「9  
月15日の原子炉設置変更許可  
からまだたった5カ月。市民  
の声もきかず、適合性審査も  
途中であり、あまりに拙速」  
と批判、舟木健治市議は「住  
民投票条例請求運動を行った  
市民の声を重視すべき」と訴  
えました。



再稼働反対の意見を述べる田中肇市議

力はなく、できるのは被害を  
最小限に抑えること。そのた  
めには1号機と共に2号機も  
直ちに廃炉作業に入るべき。  
また、省エネと節電の進展に  
より電力需要は減少し、再エ  
ネ技術の進歩により原子力発  
電の必要はなくなる。松江市  
民の命とくらしに責任を負う  
市長は同意すべきでない」と  
訴えました。6会派の内、再  
稼働賛成が4会派、意見が取  
りまとめられなかった会派が  
1会派、再稼働に反対したの  
は共産党市議団だけでした。

各会派の意見表明が終了し、  
休憩の後再開された全協で、  
上定市長が直ちに再稼働に同  
意する旨の表明を行いました。  
これに対し、田中市議は「住  
民投票条例を否決した直後に  
同意するとは、あまりに拙速  
ではないか」と抗議しました  
が、上定市長は、「拙速とは  
考えない」と述べました。

傍聴していた多くの市民か  
ら、「松江100年の未来を  
決める熟慮・熟考がわずか1  
時間半か。あまりに拙速」と  
の声が上がりました。